

子どもの本と文化を、
子どもの未来のために—

大阪国際児童文学振興財団

INTERNATIONAL INSTITUTE for CHILDREN'S LITERATURE, OSAKA

REPORT

No.05
2015.10

編集・発行／一般財団法人
大阪国際児童文学振興財団
〒577-0011
東大阪市荒本北1-2-1 大阪府立中央図書館内
TEL 06(6744)0581 FAX 06(6744)0582

<http://www.iiclo.or.jp/>

「広場」の創造

理事長 宮川健郎

二〇一五年七月一日付で一般財団法人 大阪国際児童文学振興財団の理事長に就任しました宮川健郎と申します。日本児童文学の研究者です。

このたびの理事長就任は、ずいぶん思いがけないことでしたが、私自身、国際児童文学館や、この財団に長くお世話になりながら勉強をしてきたことを思っ、お引き受けすることにしました。二〇一〇年度に財団が新しい体制になり、いろいろな困難もかかえるなかで、スタッフのみなさんが、それでも熱心に仕事をしてくださっていることに感動して、私も仲間に加えていただきたいとも考えました。どうぞ、よろしくお願いたします。

二〇一四年十一月、当財団は、公益財団法人 日本青少年文化センター主催の第三七回巖谷小波文芸賞特別賞を受賞しました。これは、当財団の研究分野での長年の取り組みが認められたものです。一五年一月には、当財団の特別顧問だった鳥越信先生の業績を顧みるフォーラムも開催されました。いずれも、財団の蓄積や歴史を振り返る機会にもなりました。多くの方たちのご努力によって重ねられた歴史を背中に感じながら、私たちは、前を向かなければなりません。

子どもの本は、次の世代に文化を手渡すメディアです。子どもの本にかかわる大人たちは、子どもの本が、やさしいことばで大切なことを語ることに惹かれ、そこに意味を見出しているはず。当財団は、子どもたちと子どもの本にかかわる大人たちの交流の広場でありたいと思っております。

といつても、この広場をめぐる状況は、いまだに安定したものではありません。以前にくらべると、財団の経営は改善されてきていますが、赤字基調を抜け出したわけではありません。子どもの本をとおして、世界の未来をひらくために、知恵を出し合いたいと思います。現実の底にある新しい可能性を掘り起こす工夫をしたいと思えます。子どもの本に心をよせる個人・法人・団体の皆様のさらなるご支援をお願いいたします。大阪府および府立中央図書館との連携・協力も、これまで以上に緊密なものにしていきます。

私は、ふだんは東京で仕事をし、東京で生活していますから、この文章も、東京の自宅で書いています。国際児童文学館も財団も大阪にあります。それは、日本中の大人たちのものでも、世界中の人たちのものでもあります。何しろ、大阪国際児童文学振興財団は、広場なのです。楽しく豊かな、そして意義のある広場を創造しよう、力をつくしたいと思えます。よろしくお願いたします。



フォーラム 児童文学とは何かを問い続けて— 児童文学者鳥越 信の仕事を顧みる

平成25年2月14日に83歳で逝去された当財団元理事鳥越信先生の児童文学者としての仕事を顧みるフォーラムを開催しました。

鳥越先生は、約12万点の児童文学・児童文化に関するコレクションを大阪府に寄贈され、それを元に、1984年5月5日に大阪府立国際児童文学館が開設されました。

フォーラムでは、宮川健郎さん（武蔵野大学教授）が「現代児童文学のデザイン—児童文学研究のデザイン—」で大



きな功績を残されたことをお話しされました。向川幹雄さん（当財団特別顧問、兵庫教育大学名誉教授）は、国際児童文学館の創設、児童文学研究を近代文学研究の一翼としたこと等をお話しされました。また、森久保仙太郎さん（翻訳家、絵本研究者、作家 ※ビデオ出演）は、絵本研究のフロンティアとして鳥越先生を評価されました。

これらを受け、三宅興子理事長をコーディネーターに、宮川さん、向川さんが、鳥越先生の業績から何を学び、いかに乗り越えていくのかについて議論しました。

・日 時：平成27年1月31日(土)
・場 所：大阪府立中央図書館
・参加者：93人
・後 援：大阪府立中央図書館 日本児童文学学会

*子どもゆめ基金助成活動
○報告集（1000円・税別）

第37回 巖谷小波文芸賞特別賞を受賞しました

当財団は公益財団法人 日本青少年文化センターが主催されます「第37回巖谷小波文芸賞 特別賞」を受賞しました。

受賞理由は、巖谷小波没後80年記念大会を日本児童文学学会とともに実現し、また貴重な新資料の受入と整理を進めるなど、小波研究の領域を大きくひろげた活動に対して、とされています。

贈呈式は2014年11月26日(水)、東京の「山の上ホテル本館」で行われ、三宅興子理事長(当時)が賞状、賞牌、副賞を受けました。当財団としては、この上ない名誉なことであり、皆さま方のご支援に心から感謝申し上げます。



ドイツの児童文学作家
クラウス・コルドンさん
講演

ドイツの代表的な児童文学作家クラウス・コルドンさんをお招きし、講演会を開催しました。また、翻訳者でドイツ文学者の酒寄進一さんにもコルドン作品について語っていただきました。

〈国際講演会〉

「ドイツの児童文学作家クラウス・コルドン講演会 わたしの物語作法―『古き』ベルリンの若者たちの今―」
まず、酒寄さんが「クラウス・コルドンの世界」と題して、「ベルリン」3部作との出会い、翻訳が実現するまでの



経緯、ドイツ文学の中でのコルドン作品の位置付けを他の作家と比較しながら話されました。

次に、コルドンさんが「私の物語作法―『古き』ベルリンの若者たちの今―というタイトルで、若者を読者対象に歴史小説を書く意味、「ベルリン」3部作を書く過程などについてお話しされました。

最後に質疑応答の時間があり、エーリヒ・ケストナーについて、子どもの頃の読書についてなどにコルドンさんが答えました。

日時：平成26年11月30日(日)
場所：大阪府立中央図書館
大会議室

講師：クラウス・コルドンさん
(ドイツの児童文学作家)

酒寄進一さん(ドイツ
文学者、翻訳家、和光大学教授)

通訳：酒寄進一さん、
マライ・メントラインさん

参加者：82人
主催：国立国会図書館 国際子

森の絵本を創ろう!
万博の森の葉っぱを使って絵本をつくりました!

子どもの本の展示とイベント「森と友だちになろう!」のイベントの一つとして、万博の森の葉っぱを使ったコラージュ絵本を創りました。



日時：平成26年9月13日(土)
場所：万博記念公園内 EXPO'70パビリオン
講師：土居 安子(当財団 主任専門員)
参加者：小学生20人
主催：当財団
一般社団法人 関西環境開発センター
後援：大阪府立中央図書館
*日本万国博覧会記念基金助成事業

ども図書館、大阪府立中央図書館、当財団
*本事業は、左記の各社からご支援をいただきました。

近畿日本鉄道株式会社
サントリーホールディングス株式会社
パナソニック株式会社
株式会社富士通システムズアプリケーション&サポート
ムサシ・アイ・テクノ株式会社
講演会の報告集を販売しています(800円・税別)。

子どもの本の展示とイベント
「森と友だちになろう!」

大阪府立中央図書館国際児童文学館蔵の資料から「森」をテーマにした絵本、宮沢賢治の本、森の生き物の本、森の環境を考える本など、明治期からの子どもの本を展示し、関連イベントを開催しました。



日時：平成26年8月30日(土)
9月15日(月・祝)
場所：万博記念公園内 EXPO'70パビリオン
主催：当財団、一般社団法人 関西環境開発センター
後援：大阪府立中央図書館
*日本万国博覧会記念基金助成事業

〈関連イベント〉

「おはなし会 森のおはなし」

日時：平成26年9月7日(日)
おはなし会2回
出演：おはなしポップ
参加者：87人



「のりものだいすき おはなしだいすき」

貸切モノレールの中でおはなしを楽しみ、彩都西の会場で人形劇を観る「おはなしモノレール」を実施しました。平成26年度で8回目となります。
日時：平成26年11月9日(日)
定員：240人
出演：職員、おはなしポップ
人形劇サークル ぱれっと等



目録
童話と絵本のグランプリ

アマチュア作家を対象にした創作童話と絵本のコンクール「第31回日産 童話と絵本のグランプリ」を実施しました。審査の結果、入賞作品38編を決定しました。

○応募数 童話の部2457点、
絵本の部370点 計2827点
○童話の部 大賞
「タンポポの金メダル」
山本 早苗さん

絵本の部 大賞
「せかいのはてのむこうがわ」
たなかやすひろさん
○表彰式 平成27年3月7日(土)
大阪府立中央図書館
ライティホール

協賛：日産自動車株式会社
また、第30回童話の部大賞および絵本の部大賞作品をB1出版から平成26年12月に出版しました。

童話の部 「カエルと王かん」



なかじま ゆうき/作
山田 真奈未/絵



ながやま ただし/作・絵

子どもに本を 手渡す人のために

●講座への講師派遣

子どもの読書活動にかかわるボランティア、司書、学校司書、教員、保護者や子どもの本に関心のある人等を対象とした、本の選び方や読書活動のあり方に関する研修や、本の楽しさを伝える講座、講演会、読書会の講師として、主任専門員、特別専門員を派遣しました。

●実施回数：52回

●審査員・委員など

左記の事業に、審査員や委員として参加しました。

- 第10回大阪子ども本の帯創作コンクール
- 第24回算面手づくり紙芝居コンクール審査員(箕面市教育委員会・人と本を紡ぐ会)
- 平成26年度「心の輪を広げる体験作文」審査委員会(大阪府福祉部)
- 第33回人権啓発詩・読書感想文審査委員会(大阪府府民文化部)
- 「コープのえほんでスマイル」専門委員会(大阪いすみ市民生活協同組合) 他

●「おはなしボランティア ステップアップ講座」

大阪府域の図書館や学校等ではおはなしボランティアをしている方を対象に、絵本の選び方やプログラムの立て方について実践的な講座を行いました。

開催日：平成26年5月23日(金)
7月4日(金) 全5回
場所：大阪府立中央図書館
内容：絵本を選ぶ、読む、

プログラムを立てる等
講師：川内五十子(当財団特別専門員、土居安子(当財団主任専門員)
対象：読書活動ボランティア等
*子どもゆめ基金助成事業

子どもたちに おはなしの楽しさを

●昔の紙芝居に触れるイベント

「懐かしの街頭紙芝居」『少年ロビン・レンジャー』とその時代」

紙芝居師、近藤博昭さんによる街頭紙芝居「少年ロビン・レンジャー」などの実演と、畑中圭さんの講演「街角の子ども文化」紙芝居の歩みと今日的意義」を行いました。



日時：平成27年1月25日(日)
場所：大阪府立中央図書館 大会議室
講師：畑中圭さん
(童謡詩人、児童文学研究者)
出演/協力：一般社団法人塩崎おとぎ紙芝居博物館
*主催：大阪府立中央図書館 国際児童文学館、当財団

●大阪府立中央図書館との連携

大阪府立中央図書館子ども資料室でおはなし会6回、人形劇1回を開催しました。



●絵本づくりワークショップ

「森ごとまたちになろう！」
「森の絵本づくり」
日時：平成26年10月4日(土)
5日(日)
場所：大阪府立少年自然の家
「ワークシヨップ まるさん
かくしかくの絵本づくり」

日時：平成26年2月28日(土)
場所：大阪府立江之子島文化芸術創造センター

●小学校や図書館でのおはなし会 やワークシヨップ

吹田市立山田駅前図書館でのおはなし会(2回)
出演：職員、おはなしポッポ
豊中市立東丘小学校等での小学生を対象とした、物語体験ワークシヨップ(3回)

●児童養護施設でのおはなし会

大阪府域の児童養護施設8カ所でおはなし会と人形劇を開催し、関連した絵本を配布しました。
おはなし会6回、人形劇2回
出演：おはなしポッポ
人形劇サークルぱれっと
人形劇団フラトル

●一般財団法人高津成和会助成事業

「子ども童話体験交流2014」に参加しました。「歌」を交流テーマに開催され、日本の小学6年生と一緒に絵本作りをしました。

日時：平成26年8月18日~22日
場所：宮城・仙台(秋保温泉)
参加者：32名
主催：日中韓子ども童話交流実行委員会

●「おはなしポッポと」人形劇サークルぱれっとの財団事業への参画

子どもと本をつなぐさまざまな事業に当財団所属のボランティアグループに参画していただきました。
また、「おはなしポッポ」は、絵本やおはなしに関する研修を3回「ぱれっと」は講師を招いた研修を2回行いました。



♪ほんナビきつず♪

子どもの本をあらすじ・キーワードから探す

「ほんナビきつず」はインターネットで楽しく遊びながら、ことばや感情を選ぶことによってお気に入りの本に出会うシステムです。
キーワード、あらすじは当財団で独自に作成。26年度は1564冊の本を追加しました。
共同開発：株式会社富士通システムズアプリケーション&サポート

♪ドキドキ絵本づくり for kids

平成25年度に開設した、インターネットを見ながら絵本の作り方を体験することができるウェブサイト「ドキドキ絵本づくり for kids」について、チラシの配布や、ワークショップ等を通して普及を行うと同時に、子どもの作品のアップロードを行いました。

内容 もりだくさん!

メルマガ発行、
ぜひ会員登録を

毎月メルマガガジンを発行しています。発行は、月1回、毎月20日頃に配信しています。登録は無料です。皆さまの登録をお待ちしています。

平成27年7月22日現在、登録数は1722人です。内容例は左記のとおり。

1 お知らせ
財団からのお知らせコーナー

2 コラム
1) 新刊書の紹介
専門職員が理事長、児童文学者と毎月一冊の本を選んで対談します。本に対する新しい見方が発見できます。

2) 児童文学作家や作品についてのエッセイ
宮沢賢治作品などについて興味深いポイントや、理事長と専門職員が交互に紹介します。

3) 読書活動ボランティアのためのワンポイント
読書活動を行っているボランティアさんのための連続講座。絵本の選び方、読み方など、基本的なポイントを説明しています。

4) 行って来ました!
展示会や映画、講演会など、子どもの文化に関わる催しのレポート

3) 全国のイベント紹介
他団体等が実施するイベントを紹介

4) プレゼント
今号でとりあげた本やイベントグッズを抽選でプレゼントします。

本の海大冒険のリニューアル



平成15年より公開している、インターネットで読みたい本が探せるサイト「本の海大冒険」をリニューアルしました。

佐々木マキさんの絵本に登場する「ムッシュ・ムエル」や「ねむいねむいねづみ」をナビゲートに、クイズや思いついたことばによる本の検索を楽しむことができます。

今回、テーマ、キャラクターのコンテンツの追加や、「本さがしゲーム」の更新、作家インタビューの追加などを行いました。また、タブレットやスマートフォンでも利用していただけるようになりました。これからも新しい本の情報を更新していく予定です。

企画・立案：当財団
システム開発：株式会社ジャスティス
*子どもゆめ基金助成事業

子ども読書活動の推進のために

大阪府子ども読書活動推進連絡協議会への参画

大阪府が推進する「第2次子ども読書活動推進計画」に基づき、子ども読書活動に関わる他の団体・組織とともに、府内の子ども読書活動推進のための協議会に参画し、会議に出席しました。(2回)

共同研究を行いました

近代日本児童出版文化史の研究

明治期における博文館出版文化の内容と特質
博文館の児童出版文化についての調査研究を外部研究者とともに行いました。

- ・研究会の開催(4回)
- ・大阪国際児童文学振興財団研究紀要第28号「掲載(論文1本、研究ノート1本)
- ・研究メンバー：浅岡靖央(日本児童教育専門学校教員)、酒井晶代(愛知淑徳大学教授)、三宅興子(当財団理事長)、遠藤純(当財団特別専門員/華頂短期大学准教授・研究代表者)、小松聡子(当財団特別専門員)、土居安子(当財団主任専門員)
- *独立行政法人日本学術振興会科学研究費助成事業 基盤研究(C)平成26~28年度

論文集

「大阪国際児童文学振興財団研究紀要」第28号の発行

今号も、大阪府立中央図書館国際児童文学館の資料を活用した研究論文を公募しました。6名の応募があり、論文4本、研究ノート1本を採用しました。

【目次】
『教育雑誌』に翻訳されたグリム童話―本邦初訳の一五の作品―
府川源一郎

『少年園』における西洋文化の受容―「セント・ニコラス」との関係を中心に
柿本 真代
明治末から大正期にかけての少年・

少女雑誌の投稿欄における「とんち・奇抜問答」 福井 直秀
「かわいい」の生成―一九一〇年代の「少女の友」を中心として
渡部 周子

大正期「少年世界」と「少女世界」の読者投稿欄 土居 安子
(研究ノート)

2000年~2009年の「ももたろこ」話 大藤 幹夫
巖谷小波のお伽口演に関する覚え書き―南部新一(新井弘城宛 巖谷小波書簡から 遠藤 純

出版や展示の企画を行いました

貴重な資料の複製や作家選集、論文集など児童文学・児童文化に関わる各種出版事業の相談に応じています。

- ・「進研ゼミおすすすめ本1000冊」ベネッセコーポレーションから受託し、小学1年生~中学3年生を対象に、推奨本の選定、紹介文について協力しました。
- ・出版社等による企画協力業務の受託
- ・「コープのえほんでスマイル」の絵本選定、ガイドブック原稿作成を行いました。
- ・「ムジカノヴァ」8月号「ピアノ教室夏休み推薦図書」の原稿を執筆しました。

資料を販売しています

- ・「財団発行資料」
2014年度国際交流事業報告集
ドイツの児童文学作家クラウス・コルドン講演会 わたしの物

語作法―「古き」ベルリンの若者たちの今」 8000円
・フオーラム報告集「児童文学とは何かを問い続けて―児童文学者鳥越信の仕事を顧みる」 10000円

・「2013年度国際交流事業報告集 絵本作家ローレン・チャイルド自作を語る―あたしのなやみは無限大―子ども向け絵本づくりワークショップ」 10000円
・フオーラム報告集「子どもの文学と文化を問い続けて―児童文学者中川正文の仕事を顧みる」 14000円

・「2012年度国際交流事業報告集 絵本作家デイヴィッド・ウィズナーの世界 絵は物語る/子ども向け絵本づくりワークショップ」 10000円

・「国際児童文学館紀要」
「大阪国際児童文学振興財団研究紀要」1号~28号
10000円~19000円

・論文集「台湾の絵本」、「タイの絵本」、「インドの絵本」、「中国の絵本」
など多数あります。ご希望の方はお問い合わせください。(価格は税別)

資料のご寄贈をありがとうございました

今年度も出版社、作家、研究者、同人誌サークルなどから、児童書や児童書に関する資料などの寄贈をいただきました。これらの資料は、永久保存および一般の利用に供するため、大阪府立中央図書館国際児童文学館に引き継ぎました。
(ご寄贈いただいた方々のお名前は別紙をご覧ください)

図書雑誌	その他資料
3,453冊	7,634点
3,328冊	
853点	

寄付金募集のお願い!

当財団の運営を応援いただける個人、法人の皆さまからのご寄付を募っています。ご協力をお願いいたします。

◆うちよ銀行振替口座に払い込みください。

【口座番号】
00910・8・2820098

【加入者名】
一般財団法人大阪国際児童文学振興財団

※他の金融機関からの振込の場合
店名：〇九九店(ゼロキキョウ店) / 店番：099 / 預金種目：当座 / 口座番号：02820098

◆平成26年度は、1322件
1,541,081円の寄付をいただきました。ありがとうございました。(ご寄付いただいた方々のお名前は別紙をご覧ください)

編集後記

「大阪国際児童文学振興財団レポート第5号」をお届けいたしました。当レポートでは、平成26年度に実施しました主な事業を掲載しています。公式の事業報告、決算報告はホームページで公開しています。

図書資料の寄贈・寄付金・各種の事業協力など、皆さまの支援・ご協力で深く感謝いたします。引き続き皆さまのご支援をお願い申し上げますとともに、当財団の運営について、忌憚のないご意見をお願い申し上げます。